

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 規則について

本大会は 2019 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 参加校受付について

参加校受付を、以下の期日・時刻・場所で行う。大会プログラム・エントリー料の領収書等を配布するので、代表者 1 名が必ず受付に来ること。

期 日	受 付 時 間	受 付 場 所
4 月 7 日 ( 日 )	7 : 30 ~ 閉 門 時 刻	大 会 本 部 前

※開門時刻・閉門時刻については「申し合わせ事項」を参照すること。

## 3. 競技場使用上の注意

- (ア) 競技場は全天候舗装である。スパイクピンは 1 1 本以内で長さは 9 mm 以下とする。ただし、走高跳およびやり投の場合は 1 2 mm 以下とする。
- (イ) 更衣室はスタンド中段のトイレ横を使用すること。また荷物は各大学で責任をもって管理し、更衣室に私物を放置しないこと。
- (ウ) 競技場内におけるトレーナー活動は、事前に「トレーナー活動誓約書」を主催者に提出した参加校に限る。
- (エ) 競技会において携帯電話やスマートフォン等の通信機器、またこれらに類似する機器を競技エリア内で使用してはいけない。(競技規則 1 4 4 条)。

## 4. ナンバーカードについて

- (ア) ナンバーカードは学連登録時に配布している正規のもの 2 枚を胸部と背部に確実に着けること。  
※競歩種目は、主催者側が用意したナンバーカードを使用すること。  
ただし、跳躍種目については胸部か背部のどちらか一方でもよい。
- (イ) トラック競技の場合は腰ナンバーカードをつける。腰ナンバーカードは招集所で受け取り、レース終了後フィニッシュ付近にて係員に返却すること。

## 5. 各種書類について

大会当日の各種書類の配付及び提出の窓口については、下表の通りとする。

書 類 名	配 付 場 所	提出先・依頼先
棄 権 届	大会本部・招集所	招 集 所
リレーオーダー用紙	招 集 所	
記 録 証 明 書	大 会 本 部	大 会 本 部

## 6. 招集について

- (ア) 競技者招集所は第 1 倉庫 (1500m スタート付近) 西側に設置するので、事前に確認すること。
- (イ) 招集時間は別紙「2019 春季大会タイムテーブル」の通りとする。
- (ウ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
- (エ) リレーオーダー用紙は主催者が用意したものを使用する。オーダー用紙は招集所で配付する。リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙を当該種目の招集開始 6 0 分前までに招集所(競技者係)に提出すること。

7. 大会当日の棄権について

大会当日、やむなく棄権する場合は棄権届（招集所に用意）に必要事項を記入し、捺印をしたものを招集所（競技者係）に提出すること。棄権届を提出せずに棄権した場合は、その競技者の本大会での他種目への出場を認めず、今後の大会等にペナルティを与えることがある。招集に遅れた場合もこれに準ずる。

8. 用器具について

(ア) 競技に使用する用器具は原則、主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、棒高跳用ポール及び投てき物は個人所有のものが使用できる。

(イ) 個人所有の投てき物の使用を希望する場合には、検査を受け許可されたもののみ使用を認める。

(ウ) 投てき物の検査は、競技開始90分前から60分前までの間に行う。なお、検査後の投てき物は一時的に競技場備品としての扱いとし、他の競技者との共用とする。破損に関しては、主催者側は何ら責任を負わない。また、返却は競技終了後に返却場所にて行う。検査場所及び返却場所については下表の通りとする。

用 具	検査場所及び返却場所
砲丸・円盤・やり・ハンマー	第 1 倉 庫 前

9. ウォームアップについて

ウォームアップは、開門から競技開始20分前まで競技場内で行うことができる。この時間帯の直線走路の使い方については下記の通りとする。これ以降の競技場でのウォームアップについては、周回種目中はバックストレートの7・8レーンのみで許可する。周回種目以外の競技中は、バックストレートでのウォームアップを認める。ただし、芝生内でのウォームアップは大会運営に支障が出るため禁止とする。また、競技役員の指示があった場合は、それに従うこと。

○直線走路

- ・ 1～2レーン：中長距離及びジョグ
- ・ 3～6レーン：短距離・スタートダッシュ練習
- ・ 7レーン：女子100mH用
- ・ 8レーン：男子110mH用

10. 競技について

(ア) 三段跳の踏切位置について

三段跳の踏切位置は男子12m、女子は10mとする。男子の踏切位置は資格記録により主催者側が判断する。※踏切位置は該当審判員または、審判長の判断で変更する場合がある。

(イ) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は下表の通りとする。

種目・種別	組	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	7	8	以後	
走高跳	男子	1組	1m60	1m70	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	+3cm
		2組	1m75	2m00	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	2m13	2m16	+3cm
	女子	1組	1m40	1m50	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	+3cm
棒高跳	男子	1組	3m90	4m20	4m00	4m20	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	+10cm
	女子	1組	3m10	3m40	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	+10cm

第1位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。

(ウ) 計時・計測について

トラック競技の計時は、写真判定機を用いて行う。(1/100秒)

(エ) 給水について

男子5000m、男女10000mWについては天候に応じて主催者が水とスポンジを用意する。

(オ) ピットについて

男子走幅跳のピットの位置は、Aピットをトラック側、Bピットをスタンド側とする。

(カ) 競技結果と番組編成について

タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者がいる場合は、写真判定員主任が1/1000秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は、当該の競技者または代理人による抽選とする。

11. 応急処置について

競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。ただし、2019年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

12. 抗議と上訴について

競技結果の正式発表時間は、競技結果が場内アナウンスされた時間を基準とする。

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、規則第146条に基づき、結果が正式発表されてから30分以内（次ラウンドのある場合は15分以内）に、その競技者あるいはチームの代表者により、担当総務員を通じて口頭で審判長に申し出なければならない。審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は抗議申立書と委託金10,000円を添えて上訴する。この委託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

以上の事柄および今大会の規則については、大会役員の協議が最終決定権を持つ。大会・競技運営に関わる事項の変更はアナウンスや掲示板にて告知するので注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、処罰を与える。